

NPO法人 男女共同参画ネット尼崎

参画 NEWS

2022.7 Vol.55

- 2022 年度通常総会報告
- 新旧理事長・新理事あいさつ
- 尼崎市女性センター・トレピエ 男女共同参画週間事業報告
ジェンダー&アートツアー講座報告
展覧会の運営とジェンダー ～よりよく生きるためのアート活用法～
- インフォメーション



《2022年度通常総会報告》

開催日:5月29日(日)13:00～14:00

開催場所:尼崎市女性センター・トレピエ

今年は2年ぶりに会場に集っての総会を開くことができました。出席者16名、委任状22で総会は成立し、議案はすべて承認されました。

◆2021年度の総括

法人として、第2期有園博子基金助成事業により、「トラウマ×コミュニティ～有園基金でつながる・ひろがる・深まる～」に関連3機関とともに参加し、互いの活動内容についての理解を深めた。さらに事例検討を通じて女性支援への取組みや連携についての議論を深めた。第3期有園博子基金助成を受け、4回のワークショップにより、法人のこれまでの歩みや女性センター指定管理事業について振り返り、取り組みたいテーマや、今求められている支援について議論を深めた。また公開講座の開催(「これからの女性関連施設に求められていること」)により、ドーンセンターでの女性支援について学び、今後の活動にどのように活かせるかを考えた。各種研修への参加により人材育成を行い、世代交代についても他機関の例に学びながら、一步を踏み出したところである。2022年度も助成事業に引き続き取組み、さらに人材育成や課題整理など法人の基盤強化に取り組む。

女性センター・トレピエの指定管理事業については、2021年度は、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が複数回発令される中、コロナ禍で必要とされる事業を重点的に取り組んだ。企画趣旨や対象者によって、オンライン、ハイブリッド(対面+オンライン)、対面のみ等、開催方法を変えて講座を実施した。

5年間の基本目標である「ジェンダー平等と多様性を尊重する社会の推進」をテーマにした企画に加え、長期化する新型コロナウイルス感染拡大に伴った心と身体へのストレスや、より顕著となったジェンダー不平等問題を少しでも軽減できる企画に取り組んだ。男女共同参画週間事業で「みんなが自分らしく住みやすい町を目指して」を、女性フォーラムで東京オリンピック開催に合わせて「スポーツをジェンダー視点で考える」を、市民企画講座で「楽しく学ぼう ZOOM の基本」などをすすめた。女性センターが作成した「ジェンダーぬりえ絵本」を子ども向けに、大人には「ジェンダー啓発ミニ本」を立花スタンプラリーで配布して、若い世代に女性センターの周知を図った。また、デートDV出前講座では、新たに中学1校3学年すべての生徒に啓発することができた。就労支援事業は、パソコンを使った在宅ワークで起業を考える講座を開催して、リモート社会への対応を図った。また、パソコン講座は各自のスキルアップ、資格取得講座は、各資格にチャレンジする機会を提供することができた。就労体験には2人が参加した。どの就労支援講座も女性のエンパワメントにつなげることができた。

昨年度、市の監査委員会による監査で指摘を受けた自主事業については、所管課と協議を重ねてきたが、カフェは閉店、資格取得講座は今年度で終了することになった。

施設管理においては、施設修繕を順次行い現況の施設を維持することに務めた。大きな工事としては、①フィットネスルームのエアコン入替 ②ホール空調温度調節器修繕 ③3F トイレ、更衣室の排水管交換 ④ホール防排煙設備修繕工事等を行った。設備拡充としては、5月より運用が始まった学習室4と講座室に机、椅子、ホワイトボード等の備品を調達した。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、OA 教室の机の配置換え、来館者の検温とマスク着用、丁寧な除菌作業を行い、利用者の安全を守ることができた。

2021年度実施の尼崎市女性センター・トレピエ事業（主催・共催・指定管理者自主事業）

内 容	実施月・回数	内 容	実施月・回数
(男女共同参画) 絵本でほっこり in カフェ・トレピエ (指定管理者自主事業)	4～3月10回 (新型コロナウイルス 感染拡大防 止のため5月 9月は中止)	(女性のための就労支援事業) 出張！女性のための働き方セミナー～ コロナ禍での新しい働き方を考える 基礎から知りたい！在宅ワークの可能 性～	9月 1回
子ども預けて読書でリラックスタイム		個別就労相談付き 自立をめざす女性 のためのパソコン基礎講座 (16期)	9月～10月 5回
男女共同参画週間事業 みんなが自分らしく住みやすい町を目指し て	7月 1回	見つけよう！ 私らしい働き方	11月 1回
ジェンダー&アートツアー (指定管理者自主事業)	7月 1回	マザーズミニ就職面接会	2月 1回
じんけんスタディツアー 「トラウマって何？心のけがについて考え よう」	8月 1回	(スキルアップ・資格取得講座) 女性のための学び直しパソコン講座 ワードコース前期 入門、初級、上級 (指定管理者自主事業)	5月～7月 入門、初級各 4回、 上級6回
男女共同参画市民企画講座 楽しく学ぼう！ZOOMの基本+ちょこっと応 用	10月 1回	女性のための学び直しパソコン講座 エクセルコース前期 入門、初級・上級 (指定管理者自主事業)	
これからの女性関連施設に求められている こと～コロナ禍で顕著になった女性の課題 への対応事例から～ (指定管理者自主事業)	10月 1回	女性のための学び直しパソコン講座 ワードコース後期 入門、初級、上級 (指定管理者自主事業)	10月～12月 入門、初級各 4回、 上級6回
(女性のこころとからだの健康支援) 男女共同参画市民企画講座 骨盤トレーニング～体の不調に気づき、から だと上手につきあう～	10月 2回	女性のための学び直しパソコン講座 エクセルコース後期 入門、初級・上級 (指定管理者自主事業)	
女性のための自己表現トレーニング	2月、3月 4回	女性のための学び直しパソコン講座 エクセル集中コース (指定管理者自主事業)	2月～3月 午前コース、 午後コース 各10回
(暴力の根絶) DVにあった女性のための気づきと回復の講 座&語り合い	5～12月 15回	調剤事務管理士資格取得講座 (指定管理者自主事業)	9月～11月 10回+質問 会(計11コマ)
トラウマ×コミュニティ (指定管理者自主事業)	12月 1回	日商簿記3級資格取得講座 (指定管理者自主事業)	11月～2月 12回+質問 会(計25コマ)
2021 あまがさき女性フォーラム ワークショップ ① スポーツをジェンダー視点で考える ② SDGsの体験～みつろうラップを作ろう ③ マインドフルネスをヨガで楽しむ 映画上映会「まちの本屋」アフタートーク	11月 1回	(その他就労支援事業) チャレンジひろば運営 就労・起業相談 ハローワーク尼崎マザーズコーナー出 張職業相談 月1回(5・6月は新型コロ ナウイルス感染拡大防止のため中止) 就労体験(指定管理者自主事業)	4月～3月
2022 あまがさき女性フェスティバル 記念講演会 「BTSから学ぶ！社会とつながる私の一步」 作品展示、舞台発表、体験教室、販売など	3月 2日間	(地域連携事業) 男女共同参画推進委員研修1回、 ハートフルシネマ2回、 立花スタンプラリー1回、 アート@シビックロビー1回 教育関連連携2回(トライやる)、立 花生涯学習事業は新型コロナウイルス 感染拡大防止のため中止	4月～3月
デートDV出前講座9回 うち1回は新型コ ロナウイルス感染拡大防止のため中止 デートDV出前講座5回(指定管理者自主事 業)	6～2月		

(情報収集・提供事業) 男女共同参画情報誌「フェミナル」発行2回 情報資料室の運営(図書貸し出し、蔵書管理、 ブックフェア、情報ピックアップ、情報相談、 メールマガジン発行)、HP更新	4~3月	(託児事業) 託児306人 保育サポーターのための研修8回	6~3月
		(ギャラリー事業) ギャラリー展6回、ハローワーク求人情報	4~3月
(相談事業) 女性のための相談室運営(電話、面接、法律 1,863件、相談員研修等6回)	4~3月	(その他事業) 利用者懇談会2回、 自主グループ、活動団体支援、 職員内部研修20回、外部研修35回	4~3月

(特活) 男女共同参画ネット尼崎 主催事業

内 容	実施月・回数	内 容	実施月・回数
「これからの女性関連施設に求められること」(再掲) 「トラウマ×コミュニティ」(再掲) 法人の組織基盤強化と人材育成事業ワーク ショップ開催4回、他法人に世代交代を学ぶ ための研修1回、その他各種研修参加 (有園博子基金助成)	4月~3月 講座2回 ワークショップ4回、 研修9プログラム	ジェンダー&アートツアー 石内都展「見える見えない、写真 のゆくえ」(再掲)	7月 1回

*その他：ホームページの更新/参画ニュース発行3回/女性のためのNPO・起業相談など実施

◆2021年度活動計算書

(2021年4月1日~2022年3月31日) 単位 円

科 目	決 算 額
I 経常収益	
1. 入会金	2,000
2. 会費	209,000
3. 寄付金	51,000
4. 助成金等	492,781
5. 事業収益	60,496,550
6. その他収益	51,372
経常収益計	61,302,703
II 経常費用	
1. 事業費	
(1) 人件費	24,746,880
(2) その他経費	28,296,197
事業費計	53,043,077
2. 管理費	
(1) 人件費	1,234,365
(2) その他経費	5,558,335
管理費計	6,792,700
経常費用計	
当期経常増減額	59,835,777 1,466,926
III 経常外収益	
経常外収益計	0
IV 経常外費用	
経常外費用計	
当期経常外増減額	0
税引前当期正味財産増減額	0
法人税、住民税及び事業税	1,466,926
当期正味財産増減額	291,900
前期繰越正味財産額	1,175,026
次期繰越正味財産額	13,269,498 14,444,524

◆2022年度事業方針

I. 事業実施の方針

法人としては、有園博子基金助成事業として引き続き課題整理、世代交代のための人材育成に取り組み、法人の基盤強化を図る。具体的には、コロナ禍で浮き彫りとなった女性の貧困や女性支援を行っている機関、女性関連施設の取り組みに関する公開講座を開催する。有園博子基金からの伴走支援者の協力を得て課題解決についてのワークショップの開催を行う。さらに人材育成のための各種研修への参加や、世代交代の例を他のNPOから学ぶ。

女性センター・トレピエの指定管理事業については、2022年度も引き続き「ジェンダー平等と多様性を尊重する社会の推進を目指して」を目標に掲げ事業を進めていく。男女共同参画週間事業で「女の子/男の子はつくられる？教育からジェンダー平等を考える」の講演を皮切りに、SDGsの目標5である「ジェンダー平等を実現しよう」をわかりやすく啓発する。また、今年度より段階的に施行される産後パパ育休として注目の育児・介護休業法に関する講座も開催していく。さらに、長期化するコロナ禍で、より困難な状況にある女性が増え、浮き彫りとなったテーマに取り組む。講座は、対面でコミュニケーションができる会場開催とオンラインでの開催を選択して、企画趣旨や対象者に、より効果的な開催方法で行う。またDVを未然に防ぐために重要なデートDV出前講座については、所管課と協力して市内中学・高校・大学に広報を行い、「DVについて」「お互いを尊重することについて」の啓発を積極的に進める。就労支援事業も、コロナ禍で更なる困難を抱えた女性に、女性センターの資源や尼崎市雇用対策協定等を活用して、的確な就労支援を複合的に行っていく。就労体験者は、随時受け入れ、働きづらさや自立のために悩む女性に寄り添った継続的な支援を行う。

旧カフェの場所は、引き続きチャレンジひろばとして活用し、新規事業として、就職支援グッズとなる、スーツやカバン、靴等の寄付を募り、困難な状況にある女性に提供する事業を実施する。まずは、就労フェアを行い、その後は随時、必要とする女性にグッズの提供を行う。

施設管理では、障害者用駐車場の陥没、亀裂の大きい駐輪場の階段の修繕、1・2階のトイレ洗面台の排水管入替工事をはじめ、老朽化する施設内外の改修工事を随時行う予定にしている。ウイルスレスウォーターをはじめ除菌液等で感染防止対策を続け、利用者の意見を尊重した備品・消耗品を購入するなど利便性も含め、安全に施設全体を管理していく。



2022年度は役員改選が行われました。以下メンバーが2年間理事・監事を務めます。

下記の通り、理事長などの役が決まり、八十理事が新任、他の理事・監事は再任されました。

理事長 内田 信子

副理事長 高島 ふさ子

専務理事 三谷 順子

理事 *中里 英樹 *萩原 紫津子 *渡辺 裕子 (*評価委員)

川本 ミハル 宮下 智子 米田 美和子 八十 庸子(新任)

監事 延本 千鶴子 藤本 あゆみ

《新旧理事長・新理事あいさつ》



川本 ミハル (元理事長) 感謝・感謝

10年前、初代理事長片山佳子さん、二代目加藤道子さんの跡を継いで「熱い思いを持ち続けて・・・」と皆様にご挨拶いたしました。多くの方々に支えられ、励ましをいただいた年月でした。NPO 準備会発足から20年、トレピエの指定管理から18年の中で、事務局長を10年、理事長を10年、幸せな20年でした。スタート当初は、市議会の一部やそれを受けての厳しいお声に緊張が続いた年月でしたが、同時に多くの方々の暖かい励ましに胸を熱くしたこともたびたびでした。本当に感謝申し上げます。ありがとうございました。

今後は、発足以前からともに苦勞してきた内田信子新理事長さんを支える一人の理事としてがんばります。

生涯、現役！を目指そうと私は、法人ミッションにあります「子どもが尊重される社会」に的をしばりつつ、法人の中でも、地域でも力を尽くしていきたいと考えています。

「だれもが個として自立し、尊重される社会」、一歩ずつ前へ進めていきましょう。

内田 信子 (新理事長)

法人設立準備期から20年。トレピエの指定管理を始めて18年。そして私は今年、後期高齢者の仲間入り。そろそろ法人も世代交代をと考えていた矢先の理事長交代となりました。折しも昨年度より有園博子基金助成を受けて、法人の基盤強化の作業に入ったところでした。この20年間で社会の状況はあわただしく変化し、決して明るい方向に向かっているとは言えません。男女共同参画社会の実現からジェンダー平等社会の実現と表現は変わっていますが、めざしていることがどれだけ実現しているのか。困難な状況を抱えている女性たちがますます増えています。この時期の公共施設としての男女センターの在り方について改めて考えさせられます。

ただこれまでも、社会的ニーズに応じて次々と事業を取り入れていくことはあっても、それをささえる法人組織(基盤)についてはあまり考えることもなく来ており、この時期だからこそ組織の強化を図るための作業今年度も続けていきます。引き続きのご支援、ご指導をよろしくお願いいたします。

やそ ようこ 八十 庸子 (新理事)

今年度より理事の一員として男女共同参画ネット尼崎に参画することになりました。

神戸にあるNPO 支援をするNPO で仕事をしていたのはもはや10年余り前なのですが、そのころに研修か何かでお招きいただいたのが最初のご縁ではなかったかと思えます。SWOT分析などやって、Strengthがたくさん出てきて、参加者のみなさんのお顔が晴れた覚えがあります。

行政事業の指定管理者制度が始まり、トレピエが兵庫県第1号だということで私の所属するNPO では注目していました。機関誌で記事にするためにインタビューをさせていただいた(内田さん?)記憶があるのですが、どんな記事にしたか確かめられず、モヤモヤしています。

その後、そのNPO を退職して次の仕事を模索しているときに、トレピエでほんのしばらく、受付など手伝わせていただきました。資格試験のための勉強と両立ならず、お茶を濁した感じですが、運営の一端を覗かせていただきました。

今は、西宮市社会福祉協議会で「日常生活自立支援事業」という事業の専門員として働いています。聞き慣れない名称と思いますが、判断能力に不安のある、認知症高齢者や知的・精神に障害をお持ちの人の、おものに金銭管理を支援します。利用者さんの行動に喜んんだりがっかりしたり、泣き笑いの日々を過ごしています。

NPOの専門家ではなくなってしまう、福祉畑ではあるものの女性や男女共同参画は直接的には対象でなく、どうお役に立てばいいのやら? お話を聴くのは仕事柄、苦になりません。現場を担うみなさんにお会いして、お声を聴くところからかな、と思っています。どうぞよろしくお願ひします。



尼崎市女性センター・トレピエ 2022年度 男女共同参画週間事業報告

今年の男女共同参画事業では、7月2日(土)に木村涼子さん(大阪大学大学院人間科学研究科教授)を、講師にお招きし、「女の子/男の子はつくられる?教育からジェンダー平等を考える」について、ご講演いただきました。講演は、会場とオンラインのハイブリッドで開催し、多くの方にご参加いただきました。ご来館いただいた皆様、オンラインで参加された皆様、ありがとうございました。



男女別名簿や男女別制服などの学校文化における性別二分法が、近年問い直されている動きがあるというお話から講演が始まり、制服の選択制導入や性別にとらわれない多様な色のランドセルなどを例に、日本に広がりつつあるジェンダーレスの動きに感心させられました。

その上で、これまでの学校文化の歴史を学び、戦前の男女別学や別体系の教育システムや、当時なぜ女性が大学に進学できなかったのかについて考えました。そして、戦後の教育改革を経て、現代は進学率上昇をはじめとしてジェンダー平等が進みはしましたが、就学経路上のジェンダーギャップの存在を確認し、あらためて学校文化の問い直しの必要性を感じる事ができたと思います。

最後に、男女それぞれが主人公の絵本や、性別子育て本について取り上げてくださり、子どもに「らしい」とされる特徴を伸長するような子育てや対応が日常生活にたくさんあることを、参加者全員があらためて気づかされました。学校教育から、自身の行動を振り返ってジェンダー平等を考えることができ、平等な環境の整備を目指す重要性など、非常に得るものが多い講演会でした。

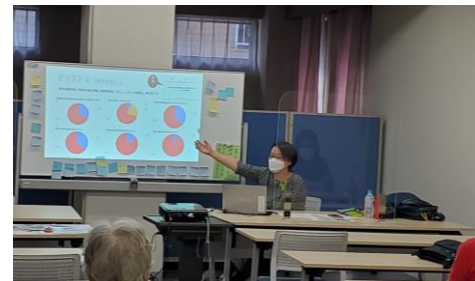
同時に開催した「ジェンダー平等を実現しよう」をテーマとしたブックフェアや、アンコンシャスバイアス等について取り上げたギャラリー展も、多くの方がご覧くださり、興味をもっていただけました。(福田真央)

ジェンダー&アートツアー講座報告

展示会の運営とジェンダー

～よりよく生きるためのアート活用法～

7月23日(土) 講師 中西 美穂(文化研究)



いろいろな視点でアートを楽しむ、というテーマで始めたジェンダー&アートツアー事業も今年度で9回目となりました。美術館での鑑賞会やワークショップを行うなど回を重ね、今回は展示会の初めの段階、企画や運営のことがわかったら、展示会を深く理解することができ鑑賞がより面白くなるのではないかと提案から講座を企画しました。

講座は、参加者の展示会への疑問や意見が、受講することでどう変化するがというところからスタートしました。様々な意見がだされました(世界の美術の潮流、東京中心?オカンアートへの批判、贋作の展示等)。

展示会で必要なものを考えるワーク行い、美術界でのパワハラや女性蔑視に由来する事件、現場でのジェンダー不平等についてデータと資料で講義を受けました。美術館へ行くたびに漠然と感じた、働いている人の男女比率のアンバランスさを数字で突きつけられました。運営ということは働く「ヒト」がとても大切で、現場の人材不足やそれに伴う忙しさや、ジェンダーの視点に鈍感な広報により事業が頓挫してしまう事件などは象徴的でもありました。そして厳しい問題だけでなく欧米中心主義でない、アジアや女性をテーマとした展示会や美術館なども紹介されました。講師の中西さんには重いテーマも織り交ぜながらも終始なごやかに、時にユーモアも交えた楽しい講義をしていただきました。

様々な気づきがあったせいを受講後は明るく楽しい気持ちになりました。次回こそ、どこかへ出かけて皆で美術鑑賞を楽しみたいと思いました。(米田美和子)

夏から秋の講座・セミナーのご案内

	講座名・内容	開催日	受講料
男女共同参画セミナー	読書でリラックス	毎月1回 第4火曜日 10:00～12:00 7月のみ第5土曜日です	無料
	絵本でほっこりタイム※	毎月1回 第3火曜日 10:00～11:00	250円
	DVにあった女性のための気づきと回復の講座&語り合い	5月12日～12月8日 第2・4木曜日 全15回 10:00～12:00	無料
	大人と子どものCAPワークショップ	7月24日(日) 10:00～12:00	無料
	パパといっしょに防災クッキング	8月6日(土) 10:00～13:00	無料
	じんけんスタディツアー 「生理の貧困」? いやいや「月経の尊厳」です!	8月20日(土) 10:00～12:00	無料
	夫婦で考える理想の育休モデル ～「産後パパ育休」だけでなく、新たな育児休業制度の使い方～	10月2日(日) 10:00～12:00	無料
	最期まで地域で私らしく生きるには 高齢者女性のグループ活動を通じて知る	10月28日(金) 14:00～16:00	無料
	2022 あまがさき女性フォーラム	11月27日(日) 10:00～16:00	無料
	デートDV出前講座 お互いを大切にする関係とは	随時(尼崎市立中・高10校無料)	有料
就労支援セミナー	パソコンを利用した私らしい在宅ワークを見つけよう!	9月28日(水) 10:00～12:00	無料
	困難な状況を抱える女性のための就労フェア	10月20日(木)・21日(金)	無料

※の講座には保育はありません

おねがい!!

特定非営利活動法人男女共同参画ネット尼崎は、男女平等推進や子どもの権利尊重をテーマに活動を行っています。ぜひ、活動趣旨に賛同いただき、会員になってください。

♥ ご寄付いただきありがとうございました。
騰和美さま、村田秀子さま、米田美和子さま

♥ 参画ニュースのアンケートにご回答いただき、ありがとうございます。ご意見もどうぞお寄せください。

<https://forms.gle/1MBZ8FvXqeFwTJ7C7>



<法人沿革>

2003年10月 NPO法人格取得
2004年7月 指定管理者として尼崎市女性センター
～現在～ の管理運営を行なう(第5期)
2008年1月 子育てキーステーション開設
～2012年3月 子育て支援活動を行なう

<会費>

正会員：入会金1000円 年会費3000円
賛助会員：個人1口2000円/年
 団体1口5000円/年

郵便振替 00920-1-268479

特定非営利活動法人男女共同参画ネット尼崎

発行日 2022年7月発行
発行者 特定非営利活動法人男女共同参画ネット尼崎
 尼崎市潮江3-4-18 TEL 06-6499-5486
<https://sankakunet-amagasaki-npo.com/>